

2020
MORIYAMA City

50th

つなぐ50年 輝く 未来へ～市制50周年～②

昭和45年に誕生した本市は、令和2年7月1日に市制施行50周年を迎えます。半世紀の大きな節目の年を迎えるにあたり、さらなる発展に向けた新たな一歩を踏み出せるよう、さまざまな記念事業を企画しています。

岡守山市制施行50周年記念事業推進委員会事務局(企画政策課内)
☎(582)1162 ㊟(582)0539

守山音頭の振り付けを市内の園児に伝授し、未来へつなぐ



守山音頭の振り付けで「ホタル」を表現する園児たち

守 山音頭は市制誕生(施行)を記念して制作されました。市の50周年を祝って、この音頭を復活させ、広めたいと願い、守山市文化協会の協力のもと、ボランティアの皆さまが市内の園児たちに守山音頭の振り付け(踊り)を伝授しています。

ボランティアの皆さまは「守山音頭には『ホタル』を表現する振り付けもあります。知っている人にも知らない世代にも市の踊りとして楽しんでもらい、さらに50年先の未来へつないでいきたいです」と話していました。



The Garden City
つなぐ、守山

*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。
小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

土器がテーマの紙芝居初お披露目

児童文学作家・^{いまげき のぶこ}今関 信子さんと^{はやしだ ひろえ}林田 博恵さんが創作
恒例の観月イベント、弥生の夜話会場で初披露



上/今関さんの朗読
と紙芝居の様子
下/粘土作品をタイ
ムカプセルに



10月11日(十三夜)に下之郷史跡公園で「弥生の夜話会」が開かれ約90人の市民が参加しました。今年は土器をテーマに例年とは違った趣向が用意されました。

これまででは市内在住の児童文学作家・今関 信子さんのテーマに沿ったトークや絵本の朗読などが行われましたが、今回はこの日のために今関さんが物語を描きおろし、林田 博恵さんが作画を担当した紙芝居「動かなくなった土器」が初めてお披露目されました。物語は少女や村人と一緒に動き回っていた土器たちが、お米の種を手に入れたことにより動かなくなったというストーリー。また、参加者が粘土を握って隣人と握手をし、指跡などがついた作品を大きな土器に入れて、タイムカプセルにする創作体験も行われました。